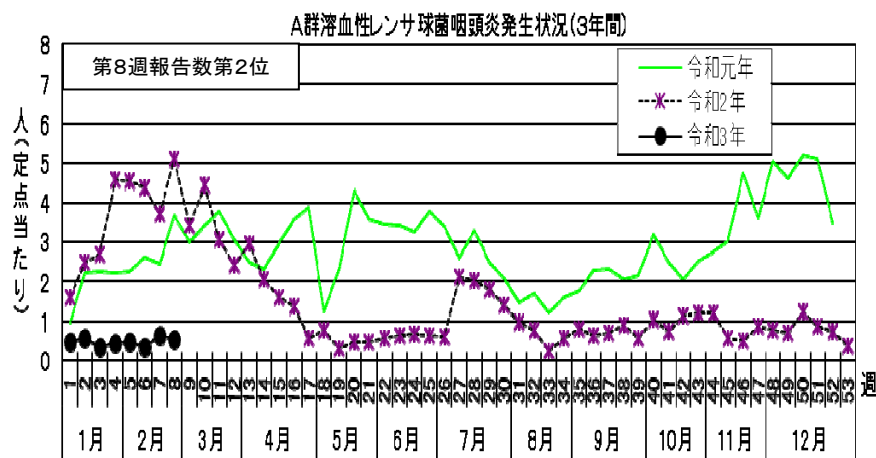
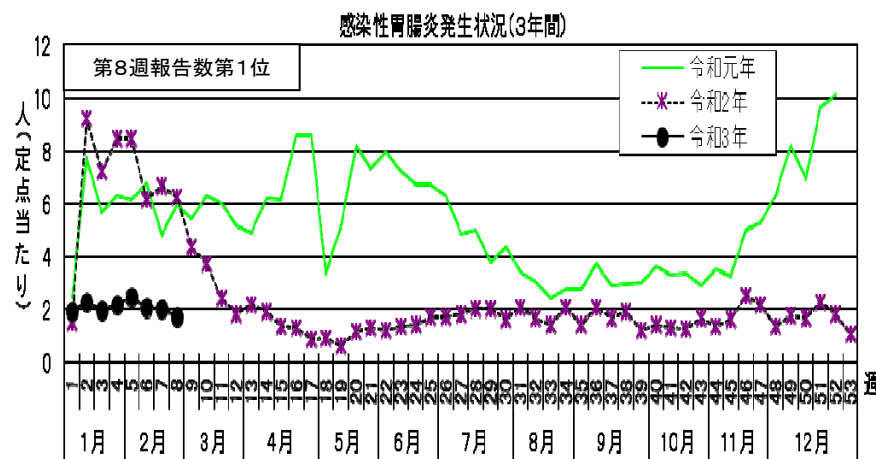


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年2月22日（月）～令和3年2月28日（日）〔令和3年第8週〕の感染症発生状況

第8週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.69人と前週（2.03人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.53人と前週（0.64人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.25人と前週（0.47人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

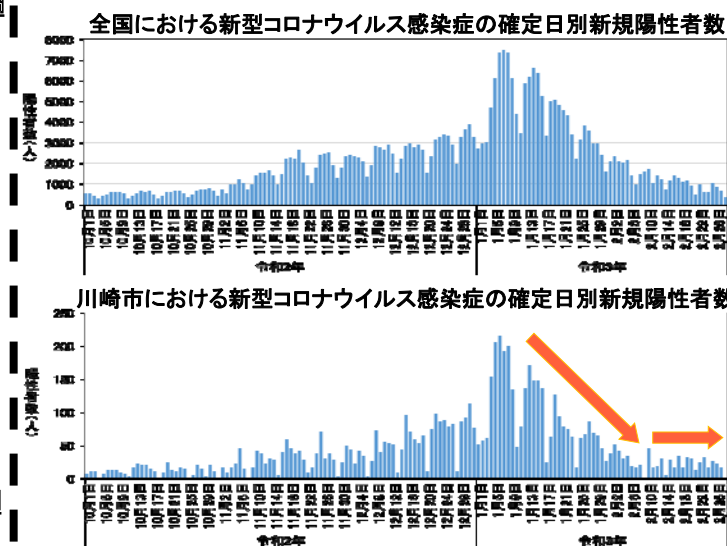


新型コロナウイルス感染症の報告数を再増加させないために！

新型コロナウイルス感染症の報告数は、首都圏を中心に昨年11月以降急増し、1月上旬をピークに急激に減少しましたが、2月以降は横ばいとなり、さらなる減少はみられていません。

川崎市においても同様の傾向であり、2月中旬以降は連日20件前後の報告が続いています。

再び増加に転じることがないように、マスクの着用や手指衛生を今一度見直し、人混みを避けるなどの感染対策を再度徹底しましょう。



感染を拡げないための対策



マスクの着用



手洗い・手指消毒



3密の回避



テレワークの推奨



会食の際は人と人との間隔をあげ、短時間で